

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり	⑤多文化共生	①	グローバル化に対応する人づくり

事業名	フカキ夢・ひとづくり事業	担当課名	政策推進課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
深喜人材育成基金条例に基づき、自分で考え行動を起こせる人材の育成を図るため、研修の参加者に対して奨励を行うことにより、市政の発展向上に寄与されるであろう人材の育成を図る。
(事業概要等)
深喜人材育成基金を活用し、国際化、グローバル化が進展するなかで、国際的な視野を持ち、自分で考え行動を起こせる人材を育成するため、市内在住の中・高校生等を対象に、研修の実施及び助成を行う。受講者の決定については、公募に対して応募した者から選考する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,104	1,533	1,153	1,843	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
研修受講者数	人	15	27	19	25
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
参加者からは、「以前より積極的にコミュニケーションを取れるようになった」「初めて聞くことについて考えるようになった」「もっと英語が知りたい、もっと発表したいと思うようになった」などの声をいただいております。積極性やコミュニケーション力、問題意識の醸成につながる事業実施ができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	広報や各種SNSでの本事業の周知を引き続き実施するとともに、事業提供会社が実施する人気プログラム「白熱英語教室」と体験会を併せて実施することで、新規受講生の獲得に繋げた。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	新規受講生獲得に向けて、さらなる認知度向上を図る必要がある。
-----------------	--------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 本事業をより多くの方に知ってもらい、まずは興味を持ってもらう必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	事業周知に関して、近隣の高校にチラシの配布・掲示をお願いする等、効率的・効果的な周知方法を検討し実践する。オンラインで実施している定期講座の受講生募集期間中に、プログラム内容を対面で体験できる場や、過去参加者の感想等を聞くことができる場を設け、まずは新規参加者に興味を持ってもらう。過去参加者に対する周知も引き続き実施し、過去参加者からの口コミにより事業を知ってもらう機会を増やす。 また、プログラム内容をより魅力的なものにできるよう、事業提供会社と連携し内容の充実・改善を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	①力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	⑤多文化共生	②	多文化共生をめざすまちづくり

事業名	国際交流事業	担当課名	政策推進課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本市における国際化・多文化共生の推進に向けて、市内に在住・在勤・在学する外国人と市民の交流活動を推進する。また、市内に在住・在勤・在学する外国人が生活する上で最も重要となる日本語の学習環境を充実させるために、市内日本語教室に助成を行う。

(事業概要等)

市民と市内に在住・在勤・在学する外国人などの交流の機会を作り、多文化共生のまちづくりをめざす。市内に在住・在勤・在学する外国人など日本語の学習を求める者に対し、個人又は団体がボランティアで実施する日本語教室教育事業に補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	90	45	135	130	R2.R4.R5はホーム ステイ・ホームビジット 事業費を含む
うち市負担分(千円)	90	45	135	130	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
補助金交付団体	団体	2	2	2	2
日本語教室で学習した生徒数(実人数)	人	44	33	80	80

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

市内在住・在勤・在学外国人が日本で生活する上で重要となる日本語を身近に学習する場を提供することができた。
泉大津国際交流協会と連携し、日本語ボランティア養成事業を実施することで、日本語教室で日本語を教えるボランティア数を増加させることができた。

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	多文化共生をめざすまちづくりに向け、令和3年度はコロナ禍により実施できなかった市内日本語学校(ファースト・スタディ日本語学校)との連携による、外国人留学生のホームステイ事業を実施し、市内でホストファミリーを募集することで、市民と外国人留学生の交流の機会を設けることができた。 日本語教室に参加する外国人を増やすため、市内日本語学校や企業へ教室の周知を行った。
----------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	市内日本語教室の担い手の高齢化
---------------------	-----------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 本市のさらなる国際交流の推進に向け、事業のあり方や手法等を見直す必要があるため。
改革・改善 策等の具体的 内容	ホームステイ・ホームビジット事業については、市民と外国人留学生の交流の機会となっていることから引き続き実施する。 コロナ禍により、減っていた日本語教室に参加する外国人数も増加してきており、対面だけでなくオンライン授業も実施する等工夫を凝らして実施している。本市のさらなる国際交流の推進に向けて、市内日本語教室及び泉大津国際交流協会と連携し今後の事業のあり方や手法等について検討を進める。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営に基 づく市民サービス	①行財政運営	③	行政改革の推進

事業名	業務改革推進事業	担当課名	政策推進課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
<p>少子高齢化に伴う社会構造の変化や増加する自然災害への対応など、自治体の担う役割が増大することが予想される昨今の情勢において、これらに対応するための業務改革を推進し、市民サービスの維持・向上を図ることを目的とする。</p>
(事業概要等)
<p>業務の棚卸しの結果に基づき、庁内における事務のIT化、アウトソーシング、事業の統廃合等を実施し、業務の効率化を図る。</p>

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	19,024	5,793	6,182	8,875	
うち市負担分(千円)	19,024	5,793	6,182	8,875	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
業務量削減時間	時間	99	104	104	150
オンライン申請手続き新規導入数	件	-	41	46	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
<p>新規で2業務にRPAを導入し、業務効率化を図った。 令和2年度より各種申請のオンライン申請の導入を推奨しており、令和4年度単年では46の手続き、オンライン申請導入後は延べ87の手続きにオンライン申請を導入した。</p>					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	<p>各種手続きのオンライン化を進めるためにハード面を引き続き整えるとともに、ソフト面として職員の意識向上を図り、手続きごとによって異なるオンライン化導入へのハードルを解消できるよう担当課のサポートをきめ細やかにを行うよう努めた。</p>
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	<p>市民サービスの向上、業務効率化の観点からも、行政手続きのオンライン化を推進する必要がある。押印の見直し等各種手続きのオンライン化に向けた周辺整備を整えたが、オンライン申請の導入数は未だ少ない状況にある。</p>
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 申請のオンライン化、業務へのRPA導入等、周辺環境の改善を含めて行政のデジタル化を進めていく必要があるため。
改革・改善策等の具体的内容	<p>オンライン申請導入については、電子決済サービス実装することで、さらなる行政手続きのオンライン化をすすめるとともに、RPA等のツールを用いた業務効率化をすすめ、市民サービスの向上に努める。</p>	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営に基 づく市民サービス	①行財政運営	④	総合計画に基づく行財政運営

事業名	行政評価事業	担当課名	政策推進課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市が行う施策や事業によって「市民にとってどのような成果を得られたのか」、「事業本来の目的をどれだけ達成できたか」という視点から施策及び事業の評価・検証を行うことにより、限られた財源を有効に活用し、効率的で質の高い行政サービスを実現させることを目的とする。
(事業概要等)
令和3年度に実施した事務事業について、担当課長が事務事業評価シートにより自己評価を実施した。また、第4次泉大津市総合計画に定めている31の基本施策についても、各部局長が施策評価シートにより自己評価を実施し、行財政改革推進本部施策評価部会において外部有識者の意見を募り、第4次泉大津市総合計画後期基本計画の進捗管理を行った。地方創生推進交付金を活用した1事業に関しては、評価委員会にて外部有識者の意見を募った。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	37	69	81	122	
うち市負担分(千円)	37	69	81	122	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
1次評価における要改善、縮小、休止・廃止評価数 / 事務事業評価数	事業	23/203	25/207	36/210	40/208
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事務事業評価においては、210事業の自己評価を行い、各事業の改善を図った。 また、地方創生推進交付金を活用した1事業に関しても、評価委員会にて第三者の視点及び専門的な見地からの評価を受けることで、今後の事業展開の方向性を確認することができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	事務の見直し点や課題を明確にするため、評価シート様式の見直しを実施した。
----------------	--------------------------------------

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	行政評価自体の事務の効率化
---------------------	---------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) より効果的・効率的な行政評価実施のため、手法等を継続的に見直していく必要があるため
改革・改善 策等の具 体的内容	質の高い行政サービスを提供するために引き続き行政評価事業は実施していくが、行政評価の実施に伴う各部局への負担が大きくなるよう、実施方法の効率化等を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営に基づく市民サービス	④市民サービス	①	市民サービスの向上

事業名	庁内ラン整備事業	担当課名	政策推進課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本庁、出先機関のネットワーク化により、行政事務の簡素化、情報の共有化、ペーパーレス化等を図る。

(事業概要等)

庁内向け事務支援システムとして、グループウェア、電子メール、インターネット環境、財務会計システム等の維持管理・機器調達を行う。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	44,661	48,055	38,572	51,068	
うち市負担分(千円)	41,031	44,307	34,672	47,114	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
情報漏えい件数	件	0	0	0	0
計画外停止件数	件	1	0	0	0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

十分なセキュリティを確保したうえで、庁内ランと各業務支援システムの安定稼働を図れた。

【事務の見直し点】

R3年度からの 改善点	各種セキュリティツールを導入する事でセキュリティを高めている。あわせて、セキュリティに関する職員の意識向上のため、研修を実施している。
----------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における 課題(問題点)	セキュリティ強化のため、庁内ランと外部のインターネットの分離を実施しているが、結果、分離前に比べてファイルの取扱い等で職員負荷が高まっている。
---------------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 効率的な事務処理において庁内LAN整備は必須であるとする。 セキュリティ確保は必須ではあるが、同時に職員の利便性向上も求められている。
	改革・改善策等の具体的内容	セキュリティ強化のため、庁内ランと外部のインターネットの分離を実施しているが、セキュリティ強化と効率性は相反する関係にある。 セキュリティ水準の保持と事務効率化の均衡を保ちつつ、職員の負荷を軽減するような対策を引き続き進めていく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営に基づく市民サービス	④市民サービス	①	市民サービスの向上

事業名	電算処理事業	担当課名	政策推進課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

行政事務の電算化による効率化及び迅速化を目的とする。

(事業概要等)

住民記録、税、国民年金、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療などの住民情報システム全般の維持管理及び法改正、制度改正時に係るシステム改修、プログラム修正など。

【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	61,958	63,040	83,494	66,858	
うち市負担分(千円)	45,889	55,913	62,630	57,371	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
情報漏えい件数	件	0	0	0	0
計画外停止件数	件	1	0	0	0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

情報セキュリティを確保したうえで、システムの安定稼働が図れた。

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	外部媒体の制御や操作履歴の管理を行うことでセキュリティを強化している。システムの保守性とコストの観点から、利用課要望のカスタマイズは必要最小限に抑制している。
------------	---

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	利用課からは操作性を重要視したカスタマイズの要望があるが、システムの安定性保持のために、利用課要望のカスタマイズは必要最小限に抑制している。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 市民サービスの向上、行政の効率化のために、電子自治体を志向していくもの。情報セキュリティ対策も必須である。また、自治体情報システムの標準化の目標時期が令和7年度と法制化されていることを踏まえ、次期システムへの移行に必要な対応をしていく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	従前のシステム利用は、各課の事務にシステムを合わせる事が多く、その結果、カスタマイズが頻出し、システムの安定性を損なうこともあったが、現行システムでは、可能な限りシステムに各課の事務を添わせ、安定的なシステム運用を行っている。 国が目標時期を令和7年度として進めている自治体情報システムの標準化の動きを踏まえ、標準化に関する推進体制を構築し、国の提示する標準仕様と現行システムの仕様の差異の比較・分析を進めていく。